



THE AMERICAN CHEMICAL SOCIETY
IS COMING TO OSAKA UNIVERSITY!

2019年9月30日(月)

13:30 - 17:15

受付:13:00 - 13:30

懇親会:17:15 - 18:15

大阪大学 豊中キャンパス 基礎工学国際棟 シグマホール
〒560-8531 大阪府豊中市待兼山町1-3

ACSが大阪大学へやってきます！ACS on Campusに参加して、
科学論文の執筆方法や研究倫理について学びましょう！

参加費は無料です。化学系の学生、研究者に限らず、どなたにも役立つ情報
が満載です。

講演者

伊藤 幸成

理化学研究所 主任研究員

原田 明

大阪大学 名誉教授

永井 健治

大阪大学 名誉教授
ACS Sensors 編集諮問委員

Jodie L. Lutkenhaus

テキサスA&M大学 化学工学科 准教授
ACS Applied Polymer Materials 編集長代理

Prabhat Verma

大阪大学大学院 工学研究科 教授
ACS Photonics 編集諮問委員

司会

井上 正志

大阪大学大学院 理学研究科 教授
ACS Macro Letters 編集諮問委員

梶原 康宏

大阪大学大学院 理学研究科 教授

プログラム

13:00-13:30
受付

13:30-13:45
開会の辞

13:45-14:30
原田明名誉教授 科学講演

14:30-15:00
CAS/SciFinder デモ

15:00-15:15
休憩

15:15-15:50
論文作成:論文投稿を成功に導く
10のコツ

15:50-16:25
査読システム:審査過程における
適切な対応

16:25-17:00
著作権と出版倫理

17:00-17:15
質疑応答
閉会の辞

17:15-18:15
懇親会

@ACSonC #ACSinJapan

参加登録はコチラから！



acsoncampus.acs.org/events/
osaka-university/



American Chemical Society (ACS) on Campus Osaka University (2019)

講演者略歴



伊藤 幸成

国立研究開発法人 理化学研究所 伊藤細胞制御化学研究室 主任研究員

伊藤幸成先生は、1982年に東京大学院薬学系研究科で博士号を取得され、マサチューセッツ工科大学・博士研究員を経て、1984年に理化学研究所・研究員に着任されました。その後、1996年より副主任研究員、1998年より細胞制御化学研究室・主任研究員を歴任されました。伊藤先生は日本糖質学会・会長（2013～2015年）、International Carbohydrate Organization 会長（2010～2012年）を含む、国内外の重要な役職にも就任されています。また Roy L. Whistler International Award in Carbohydrate Chemistry（2008年）、竹田国際貢献賞（2010年）、有機合成化学協会賞（2016年）等、数多くの賞を受賞されています。伊藤先生の研究テーマは、複合糖質、特に糖タンパク関連分子の精密合成、それに関連する分子プローブの創製に有効な方法論の開拓、および人工糖タンパク質の創製による糖鎖の機能解明、抗ウィルス活性を持つ糖鎖分子の特異的認識機構の解明、生体機能性多糖の合成研究です。伊藤先生は2018年まで *ACS Chemical Biology* の編集委員に就任されていました。



原田 明

大阪大学 名誉教授

原田明先生は、1977年に大阪大学大学院で博士号を取得され、IBM Research 客員研究員、コロラド州立大学・博士研究員を経て、1982年に大阪大学産業科学研究所・助手に着任されました。その後、1994年より大阪大学理学部・助教授、1998年より同・教授を歴任され、2013年からは大阪大学・名誉教授、同産業科学研究所・特任教授に就任されています。原田先生は、IBM Science Award（1993年）、日本高分子学会賞（1999年）、シクロデキストリン学会賞（2004年）、Izatt-Christensen International Award（2008年）、日本化学会賞（2012年）、紫綬褒章（2006年）等、国内外の数多くの賞を受賞されています。



永井 健治

大阪大学 名誉教授
ACS Sensors 編集諮問委員

永井健治先生は、1998年に東京大学医学系研究科にて医学博士を取得され、同年理化学研究所基礎科学特別研究員として蛍光タンパク質を利用したバイオイメージング技術の研究を開始されました。その後、2005年に北海道大学電子科学研究所教授に就任され、化学発光タンパク質の研究を開始、2012年大阪大学産業科学研究所教授に就任され、自発光植物の開発研究を開始されました。2014年には産業科学研究所副所長、2015年には大阪大学副理事、日本生物物理学会副会長を歴任され、2017年からは大阪大学名誉教授、本年9月に開催される第57回日本生物物理学会年会長を務めています。2011年から文部科学省・新学術領域「少数性生物学」、2018年から同「シンギュラリティ生物学」の各領域代表をされています。また、2012年木原記念財団学術賞、2013年に日本学術振興会賞、2018年に光生物学研究協会賞、大阪科学賞受賞を受賞されています。



Jodie L. Lutkenhaus

テキサス A&M 大学 アーティ・マクフェラン
化学工学科 准教授
ACS Applied Polymer Materials 編集長代理

Jodie L. Lutkenhaus 先生は現在、テキサス A&M 大学で William and Ruth Neely ファカルティ・フェローおよびアーティ・マクフェラン化学工学科・准教授に就任されています。Lutkenhaus 先生は、2002年テキサス大学オースティン校化学工学科にて学士号、2007年マサチューセッツ工科大学化学工学科にて博士号を取得されました。Lutkenhaus 先生の現在の研究テーマは、高分子電解質、機能性レドックスポリマー、エネルギー貯蔵、防食コーティングです。Lutkenhaus 先生はこれまでに、世界経済フォーラム・ヤング・サイエンティスト、カブリ・フェロー、アメリカ国立科学財団 CAREER、Air Force Young Investigator 賞、3M Non-tenured Faculty 賞等選ばれています。Lutkenhaus 先生は現在、ACS Applied Polymer Materials 編集長代理の他、ACS Macro Letters、Macromolecules、ACS Applied Nano Materials、Molecular Systems Design & Engineering、および Materials Today 誌の編集諮問委員に就任されています。



Prabhat Verma

大阪大学大学院 工学研究科 教授
ACS Photonics 編集諮問委員

Prabhat Verma 先生は現在、大阪大学大学院応用物理学科・教授、日本学術振興会・研究拠点形成事業コーディネーター、日本応用物理学会・フォトニクス分科会の幹事に就任されています。また Verma 先生はこれまで日本応用物理学会の理事等、国内外の学会で重要なポストを歴任されました。Verma 先生は、インド工科大学カンプール校にて修士号を、インド工科大学デリ校にて博士号を取得され、その後ドイツと日本で博士研究員に着任されました。Verma 先生は、フォトニクス、プラズモニクス、ナノ・スペクトロスコーピー、およびナノ・イメージング分野で世界を主導しており、これまでに有力な学術誌に論文を出版、専門書や創設論文を執筆し、国際学会において 60 以上の基調講演、招待講演を行っています。Verma 先生は現在、*ACS Photonics* 編集諮問委員の他、*Optics Communications* のエディター、*Scientific Reports* の Editorial Board メンバーに就任されています。